

学生の皆さんへ

基礎疾患等により対面授業を受けることが困難な場合の対応について

令和3年度後期は原則として対面授業を実施します。一方で、学生の中には、自分または家族に基礎疾患等があり、対面授業を受けることが困難な者がいます。

このため、こうした学生に限り、特別に遠隔で受講できるよう対応します。対応を希望する場合は、次のとおり手続きを行ってください。

- 1 提出書類 別紙様式（診断書等は不要。メール提出可）
- 2 提出先 教育推進課 E-mail : kyouiku@fpu.ac.jp
 （小浜キャンパスは企画サービス室 E-mail : ob-jimu@fpu.ac.jp）
- 3 提出期限 令和3年9月28日（火）
- 4 授業ごとの対応
 - ・実験、実習、実技はその科目の特性上、原則として対面授業のみとなります（特別な事情がある場合は授業担当教員に相談してください。）。
 - ・時間割の科目名の後ろに◎がついている授業が対面授業のときでも遠隔授業を併用するため受講可能となります（履修登録ではこの授業を選択してください。）。
 - ・時間割の科目名の後ろに■がついている授業は、対面授業のみとなりますので、このような対応を希望する学生は受講することができません。
- 5 遠隔授業の形態

次のいずれかの方法での対応となります（授業ごとに異なります。）。

 - ・教室からZOOMによりリアルタイム配信
 - ・授業録画の後日配信
 - ・資料の配信や課題付与 など

(様式)

提出日 令和 年 月 日

遠隔授業による特別対応申請書

学部・学科・学年 _____ 学部 _____ 学科 _____ 年 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

私は、次の理由により、対面授業が行われる場合でも遠隔授業を希望します。

【理由】 次のいずれかに○を付し、下の欄に詳細を記載すること

1. 自分に基礎疾患等がある
2. 基礎疾患等を有する同居家族がいる
3. 感染した場合、重症化リスクの高い高齢の祖父母等と同居している
4. その他

【理由詳細】

※ 特定の病名を記載する必要はありません。次ページの例を参考に記載してください。

記載例 【理由詳細】

私は基礎疾患（呼吸器系）があり、定期的に通院しています。医師からは、新型コロナウイルスに感染した場合、重症化リスクが高いため感染防止に十分気を付けるよう言われており、外出もできるだけ控えています。そのため、遠隔授業を希望します。

父は消化器の疾患があり、免疫抑制のための服薬をしています。そのため、重症化リスクが高く、本人はできるだけ外出しないようにしているほか、家族も感染防止に非常に気を使っています。どうしても対面でないと受けられない実験以外の授業は、遠隔で受けたいので申請します。

同居している祖母は90歳を超え、心身が虚弱な状況です。風邪などをひくと重症化しやすく、入院したこともありました。両親は働いていて、私が祖母の世話をすることもよくあります。そのため、対面授業ではなく、遠隔授業で受講したいのでお願いします。